

綾部市名所案内 = グンゼ株式会社と足利尊氏ゆかりの安国寺 =

探訪

今井 秀一<綾部市立病院>

綾部市は京都市から 60Km 余り国道 27 号線を舞鶴方面へ北上します。JR なら京都駅から丹波、城崎、タゴデイスカハリ、舞鶴、橋立などの名前の付く特急に乗り 1 時間で綾部駅に到着します。特急は朝 8 時 59 分発の舞鶴 1 号から約 2 時間間隔で運行されています。

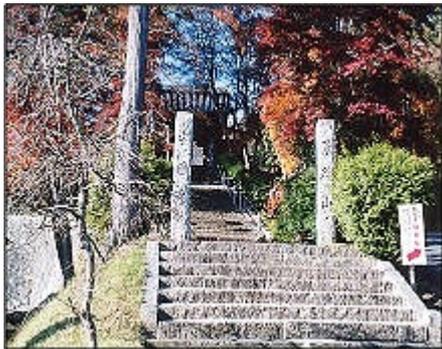
綾部市は人口 3 万 7 千人余り、北は舞鶴市、西は福知山市、東は福井県、南は南丹市と京丹波町に囲まれ、面積は 347.11 km² で落花生の断面のような形をした小さな片田舎の町です。綾部市をご存知なくても「郡是：グンゼ＝肌着」は知っておられる人は多いと思います。綾部市は、そのグンゼ発祥の地です。グンゼ本社は綾部市立病院のすぐそばに建っています。というも元を正せば、グンゼ病院が廃院になり後を継ぐ形で平成 2 年 8 月に市立病院が開院しました。歴史の短い市立病院ですが開院 2 年後から連続 16 年黒字を経常する地域中核病院で、自治体病院の中では優良病院です。病院規模は 206 床 19 診療科、医師数 39 名（研修医 4 名含む）、7 対 1 看護基準、職員数 255 名、急性期一般病院です。



綾部市のシンボリック的存在の「グンゼ」は波多野鶴吉さんが明治 29 年に郡是株式会社を設立し蚕養、製糸業の集約化を図り生産力と品質の向上を目指したそうです。創業者の鶴吉翁の理念は「良品を生むためには良質な人材が必要である」というものでした。この信念が会社設立 5 年でパリ万国博覧会において金賞を受賞する偉業となったそうです。グンゼの歴史を展示する記念館も病院の近くにありますので見学にお越し下さい。

小さな綾部市であります、ご紹介したい所はたくさん（観光マップによると）ありますが、その中でも平成 3 年に NHK 大河ドラマ「太平記」が放映され、一躍観光名所になった安国寺です。

今から 700 年前の鎌倉、室町、南北朝の戦国時代のお話で、真田広之さんが足利尊氏、沢口靖子さんが尊氏の妻の登子、藤村志保さんが尊氏の母清子、宮沢りえさんは藤夜又役で出ておられ豪華な役者さんばかりでした。きっと皆様の記憶の片隅に残っているのではないのでしょうか。場所は、JR 綾部駅から北へ約 8km 国道 27 号線を走り京都縦貫道「綾部安国寺」IC 出入口を左に折れたところに（300m）安国寺の駐車場があります。なぜここを紹介するかといえば、秋の「もみじ」がどこよりもきれい、美しいのです。京都嵯峨野のお寺や高雄など有名なところは数々ありますが、素朴なお寺に落ち着いた美しさは本当に美しいと実感するのです。まずお寺に着くと真正面に山門に通じる 50 の石段があり両脇にもみじが植えてあります。山門をくぐると正面に茅葺きの本堂、左に「枝垂れ桜」（春に大変美しく咲きます）右に樹齢 80 年のもみじが目に入ります。境内にはもみじが 100 本ほどあり、裏山のカエデ数百本とともに、秋はもみじの紅が裏山のカエデの黄色に映えます。どうして、この安国寺が有名になった理由を少し書きます。（寺の境内に立つ案内から）寺の由緒によりますと、この安国寺は元々光福寺と言ひ、臨済宗東福寺派の寺として正暦（993 年）ごろ地藏菩薩を本尊として開創されました。建長 4 年（1252）



後嵯峨天皇の皇子宋尊親王が京都から鎌倉へ下がり 6 代将軍となり、その際、公家勤修寺重房が鎌倉へ介添えとして下向し奉公しました。このことにより重房は斑鳩群上杉壮（今の安国寺のあたり）を賜りました。重房は上杉姓を名乗り、光福寺を菩提寺としました。重房の孫娘、上杉清子が後に室町幕府を開く足利尊氏をこの寺のすぐそばで生んだ（喜元 3 年 1305）（戦禍を避けた里帰り出産）と伝えられています。尊氏が歴応元年（1338）夢窓疎石の勧めで、戦乱で亡くなった死者の霊を慰めるために全国 66 ヶ所に安国寺を建立し光福寺を丹波の安国寺となし全国安国寺の筆頭としました。寺の石段の上がり口左には、産湯に使った井戸や境内左奥に尊氏、清子、登子の分骨が納まった宝篋印塔 3 基が並んで建っています（2 代将軍義詮奉納）。NHK ドラマ放映後は観光バスなどで観光客が大勢押し寄せ、尊氏饅頭も作られたそうですが、今ではひっそりとしています。歴史ロマンと美しい風景を満喫しに一度お訪ね下さい。

後嵯峨天皇の皇子宋尊親王が京都から鎌倉へ下がり 6 代将軍となり、その際、公家勤修寺重房が鎌倉へ介添えとして下向し奉公しました。このことにより重房は斑鳩群上杉壮（今の安国寺のあたり）を賜りました。重房は上杉姓を名乗り、光福寺を菩提寺としました。重房の孫娘、上杉清子が後に室町幕府を開く足利尊氏をこの寺のすぐそばで生んだ（喜元 3 年 1305）（戦禍を避けた里帰り出産）と伝えられています。尊氏が歴応元年（1338）夢窓疎石の勧めで、戦乱で亡くなった死者の霊を慰めるために全国 66 ヶ所に安国寺を建立し光福寺を丹波の安国寺となし全国安国寺の筆頭としました。寺の石段の上がり口左には、産湯に使った井戸や境内左奥に尊氏、清子、登子の分骨が納まった宝篋印塔 3 基が並んで建っています（2 代将軍義詮奉納）。NHK ドラマ放映後は観光バスなどで観光客が大勢押し寄せ、尊氏饅頭も作られたそうですが、今ではひっそりとしています。歴史ロマンと美しい風景を満喫しに一度お訪ね下さい。



沈丁花 蔓日日草 寒緋桜 玄海躑躅 柊南天 馬酔木 桃 三葉躑躅 蒲公英 乙女椿 枝垂桜

3 月の花・・・